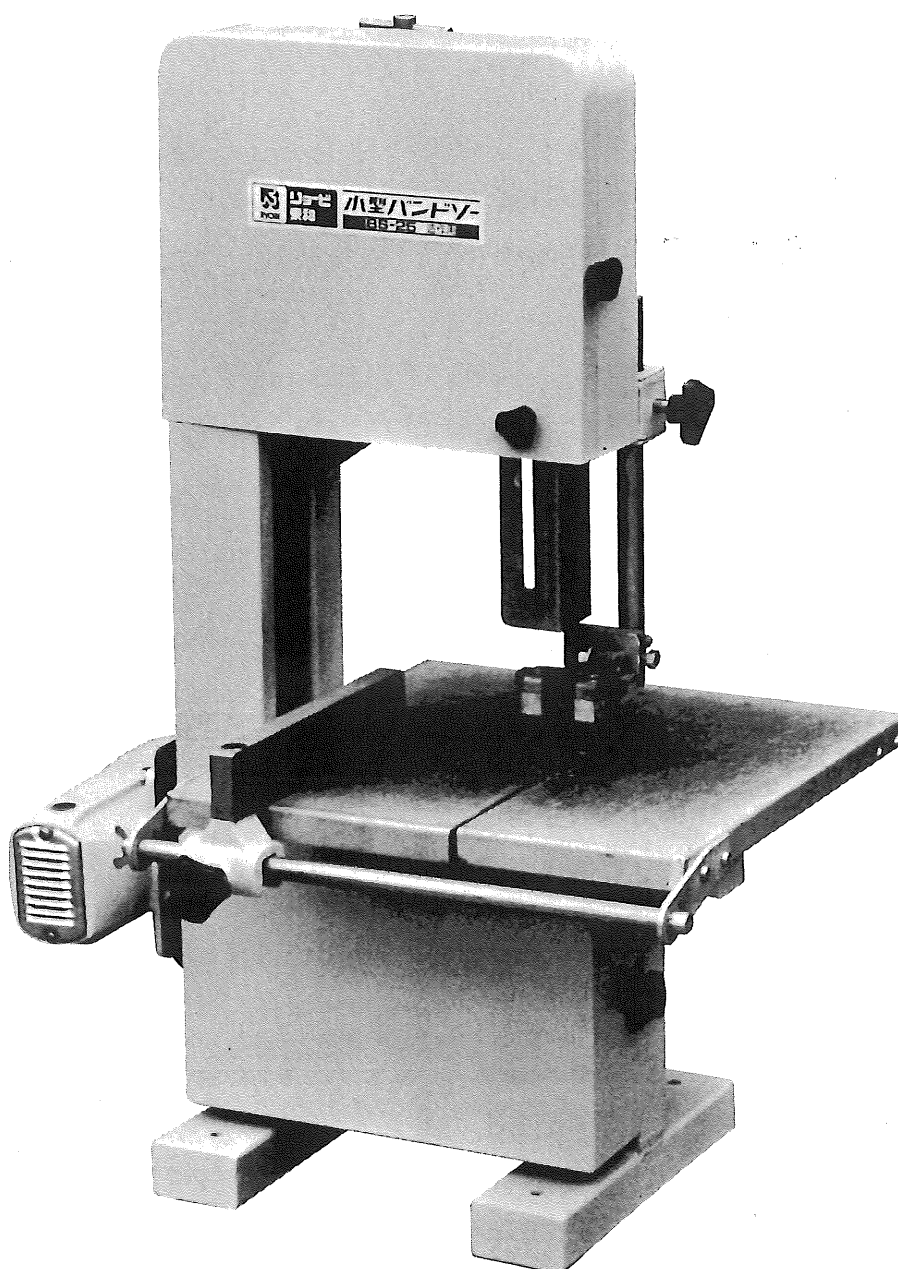




リョービ東和

小型バンドソー

取扱説明書 BS - 25



ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

この度は、リョービ東和製品をお買い上げ下さいまして誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本取扱説明書をよくご覧の上、適切な取扱をして能率を上げ末永くご愛用下さいますようお願いいたします。

■特長

- 軽量、コンパクト設計により移動が容易にできます。
- 各種帯鋸を使用することにより曲線切断が容易にできます。
- 強力モーター付で作業能率を高めます。
- ゴム張りホイールによりなめらかな回転です。

■通常附属品

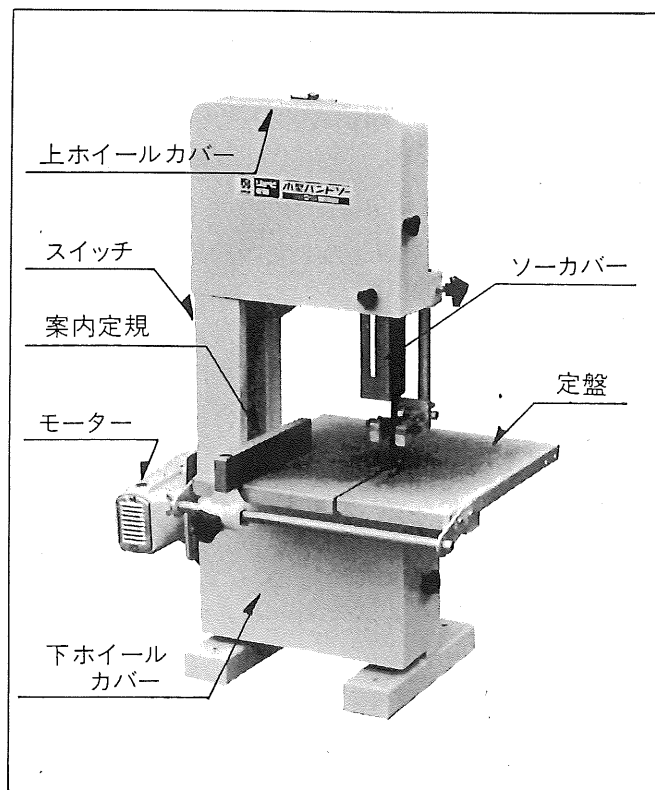
- 帯鋸 (25mm×1,840mm)..... 1 (本体取付)
- 案内定規..... 1 (本体取付)
- 両口スパナ(10mm×13mm).... 1
- 六角棒スパナ(M10)..... 1

■特別附属品

- 帯鋸 19mm × 1,840mm
- 帯鋸 16mm × 1,840mm
- 帯鋸 13mm × 1,840mm
- 帯鋸 9mm × 1,840mm
- 帯鋸 6mm × 1,840mm
- 帯鋸 (プラスチック用) 6mm×1,840mm
- 補助ローラー

■仕様

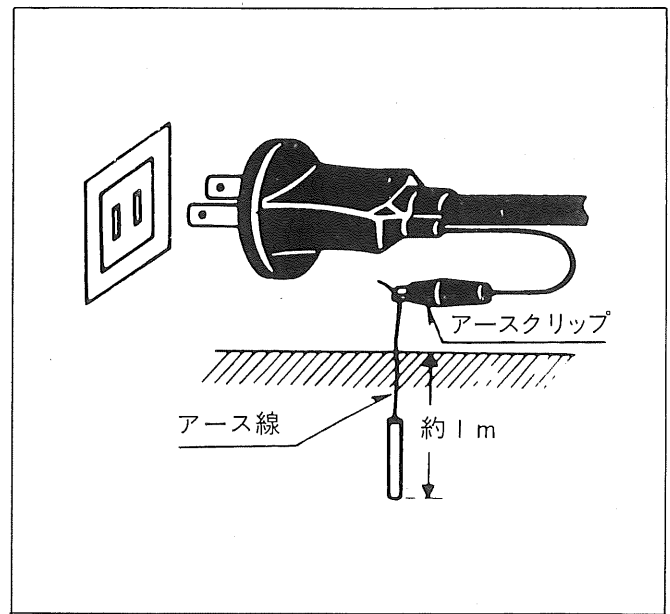
- 電 圧..... 100 V
- 電 流..... 14 A
- ホイール回転数..... 800 R.P.M
- ホイール径..... 255mm
- 機体寸法... (高さ)880mm×(幅)640mm×(奥行)450mm
- 重 量..... 50kg
- 帯鋸寸法..... 25mm× 1,840mm
- 最大切断厚さ..... 190mm
- ふところ寸法..... 230mm
- 定盤寸法..... (幅)400mm×(奥行)400mm



■ご使用上のご注意

- ご使用前には、帯鋸の取付け、ネジのゆるみ、その他異常がないかを確認して下さい。
- ご使用にならない時、また帯鋸や付属品の交換、取付けには、必ずコードを外し電源を切つて下さい。
- 帯鋸は、サビたものや切味の悪くなったものを使用しないでください。
- 帯鋸や部品の交換は、リョービ東和指定のものをご使用下さい。
- 無理なご使用は、モーター焼け、その他の故障原因となり危険ですので避けて下さい。
- コンセントから抜くためにコードを引張ったりしないでください。

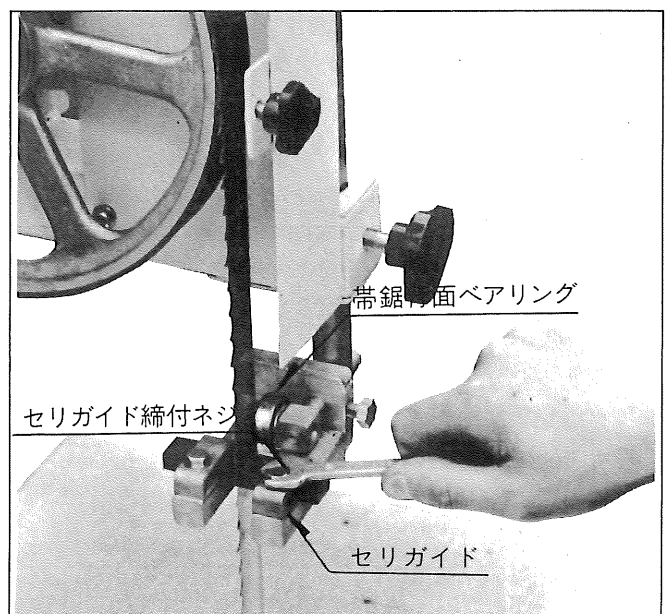
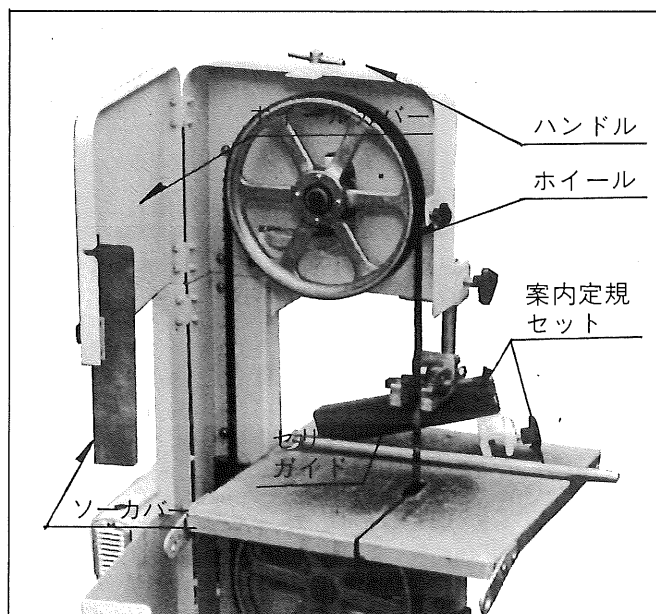
- ご使用電源を確かめ、必ず銘板に記載されている電圧でご使用下さい。
- 感電事故を防止するため、ご使用に先だちコード端にあるアースクリップを接地してからプラグを差し込んで下さい。



■鋸刃の取り替え

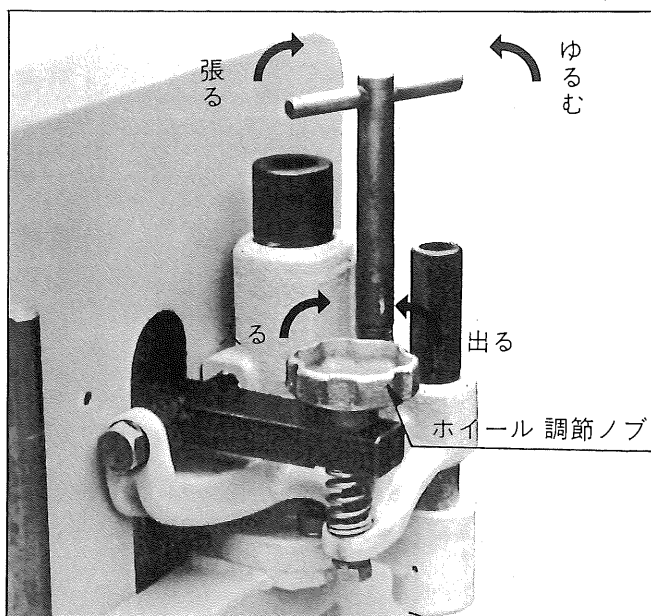
- 帯鋸の取り替えは必ず電源を切つてあるか確認してから行って下さい。
- 案内定規セットを取外します。
- 上下のホイールカバーを開きます。

- 定盤上側下側のセリガイド締付ネジをゆるめます。
- ハンドルを回し(左)帯鋸をゆるめて取り外します。
- 帯鋸の取り付けは下側ホイールから行います。



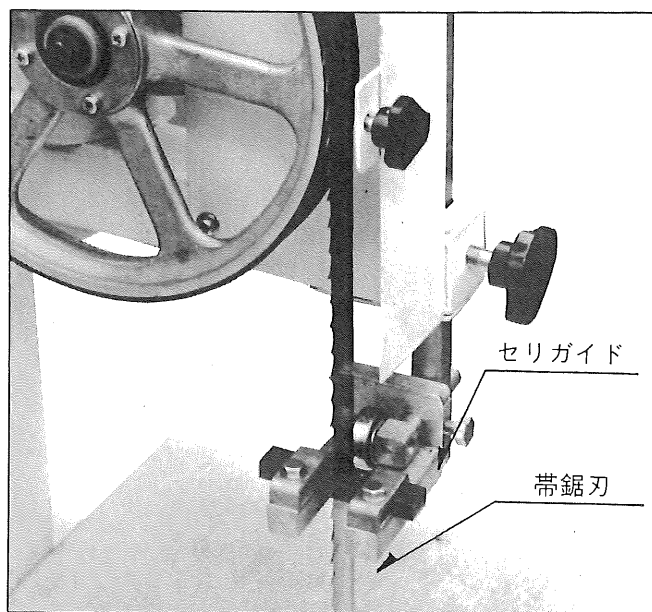
■ 帯鋸の引張り調節

- ハンドルを廻すことによって帯鋸の張り具合を調節します。
- 次に上下ホイール側面と帯鋸の歯底までの間隔を約 1.5 ミリ位になるよう手で調節します。
- 調節は帯鋸を回転させながらホイール調節ノブにより調節します。
- 帯鋸の最適な張り具合は帯鋸を指で軽くカバープレートの方に押した時 5 ～ 10 ミリの伸びがある程度に調節して下さい。



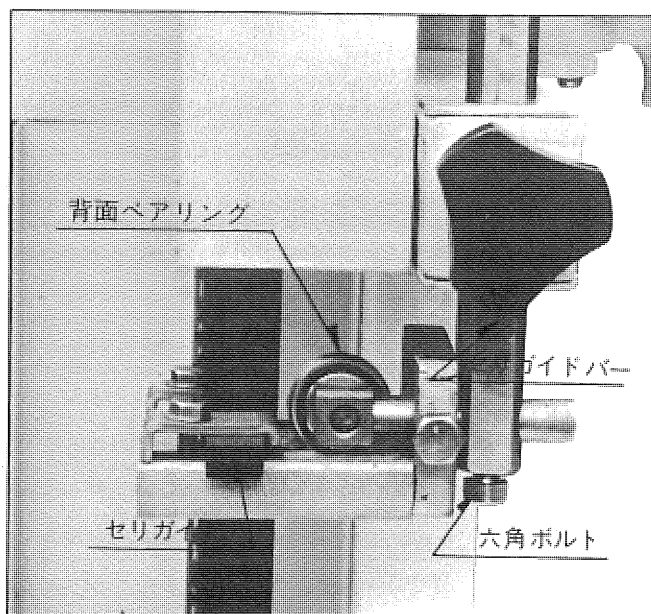
■ セリガイドの調節

- セリガイドの調節の良否が挽材の切断能率を左右しますので必ず作業前に調節して下さい。
- まず向って左側セリガイドから行います。帯鋸とセリガイドのすきまはハガキ 1 枚程度の厚さに調節し、六角ボルトを締付け固定します。
- 次に右側セリガイドも同様に固定します。



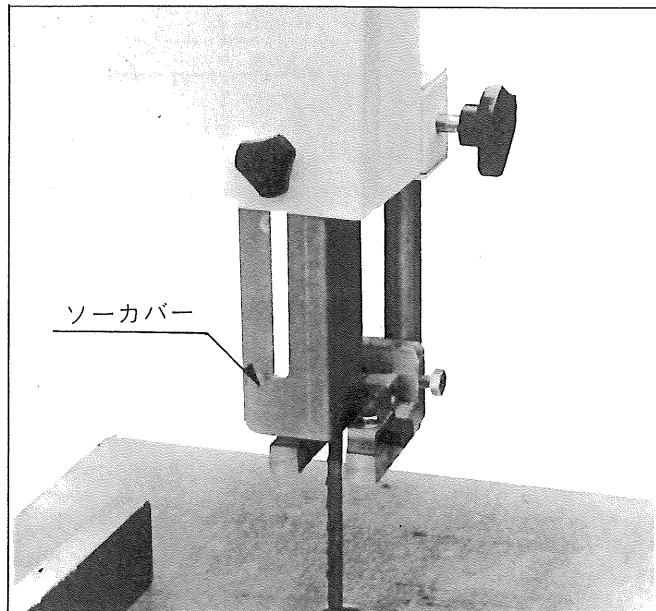
■ 帯鋸背面ベアリングの調節

- 帯鋸背面ベアリングと帯鋸との間は約 2 ～ 3 ミリ程度の間隔に調節して六角ボルトで固定して下さい。



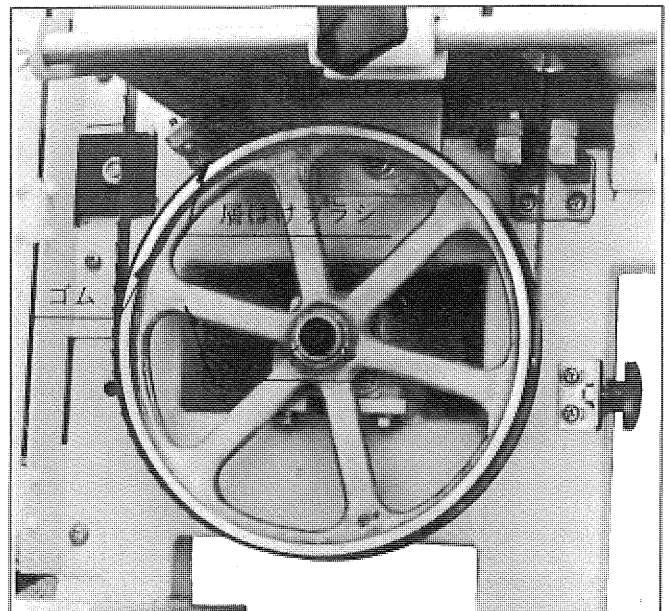
■ソーカバーで安全作業を

- 薄い板材を加工する場合帯鋸切断部が多く露出しますのでソーカバーを下げて安全作業を行って下さい。



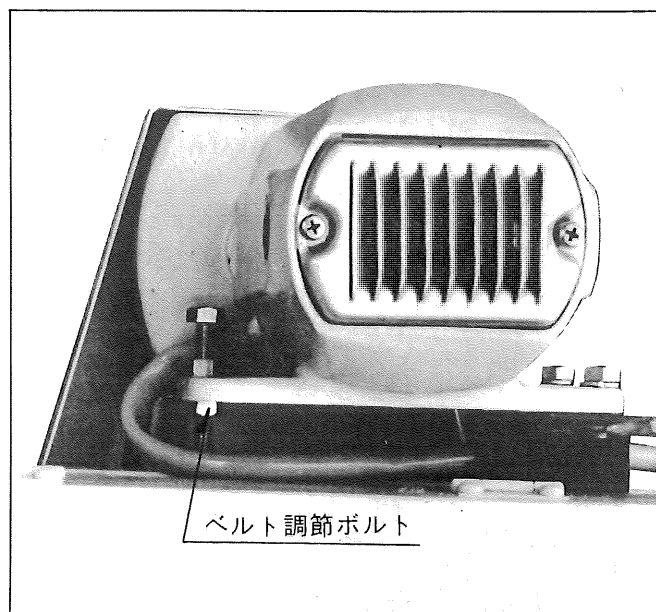
■屑はけブラシ

- ホイールのゴム面にオガ屑が附着しないよう屑はけブラシを設けておりますが、時々帯鋸をはずしてゴム面上のオガ屑を取り払って下さい。
- ゴム面と帯鋸の間にオガ屑が入ると帯鋸に無理な力がかかり亀裂を生じることがあります。



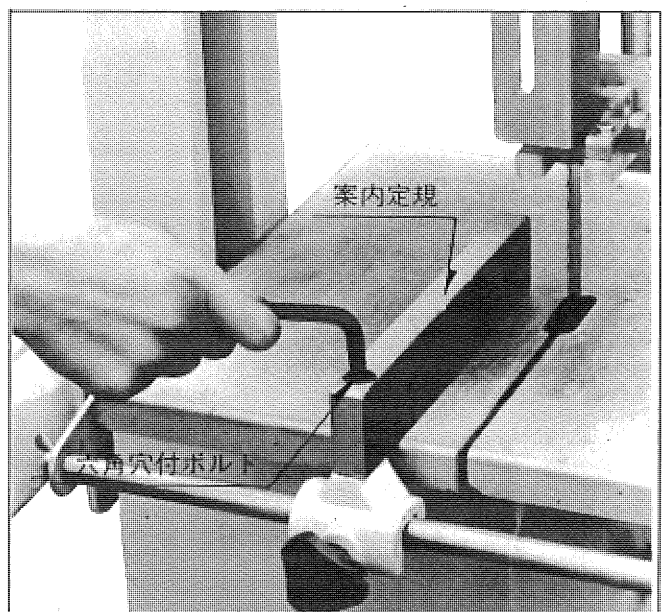
■ベルトの張り調節

- 必ず差込みプラグを電源からはずして行なって下さい。
- まずベルト調節ネジを固定している六角ナットをゆるめ、次にベルト調節ボルトをスパナで回して調節を行います。



■案内定規の調節

- 案内定規は帯鋸と平行にセットして下さい。
- 案内定規は1ヶの六角穴付ボルトをゆるめると簡単に動かします。



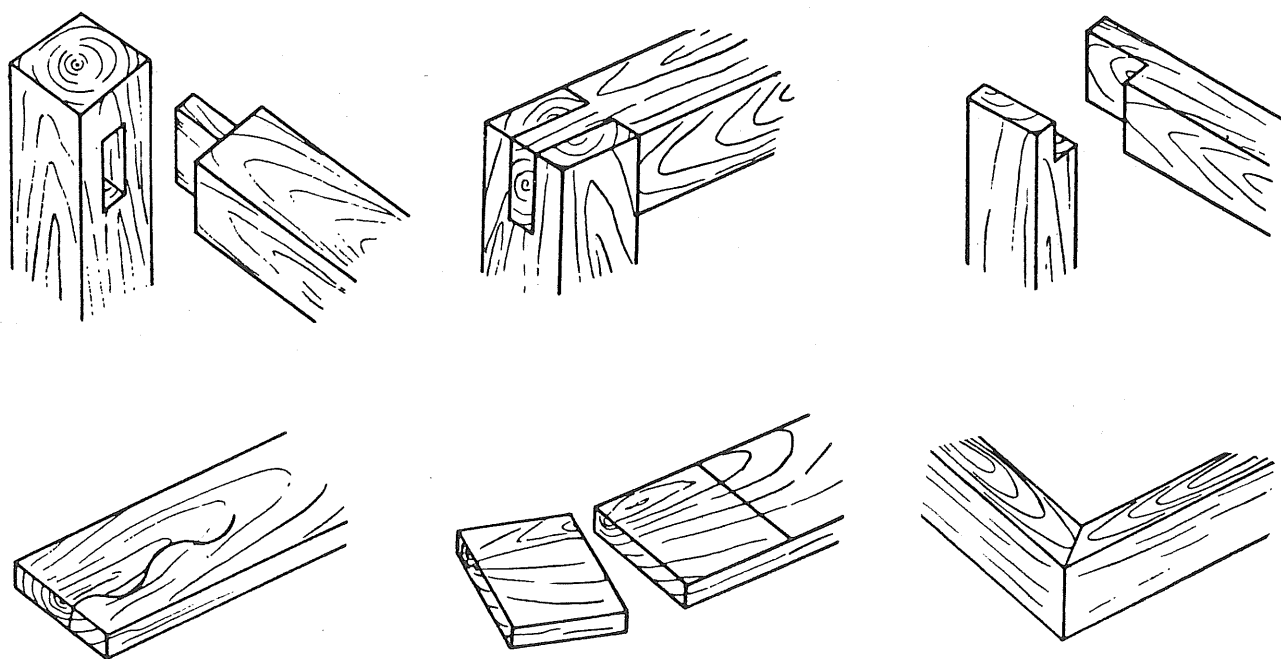
■加工例

- ホゾを作る時は木材の両側面を電気丸ノコ等で先に切込んでおきますと切削中木材による帯鋸の締りが無く楽に加工出来ます。

〔電気丸ノコは軽くて切れ味の良いリョービ東和の電気丸ノコをお使い下さい〕

- ホゾ穴を作る時は軽くて使い易いリョービ東和の電気角のみ又はチェーンのみをお使い下さい。

■加工例



■6ミリ、9ミリ帯鋸(特別附属品)の引張り調節

- ① 上ホイールの中央部に帯鋸が位置するように、上ホイールを後方に少し傾けます。
(帯鋸が前に出ない程度にして下さい。)
- ② セリガイドが帯鋸刃部に当たらないよう調節下さい。
- ③ 次に背面ベアリングを帯鋸の後方に当てるようにして下さい。
- ④ 上ホイールを手で廻して帯鋸が前に出ないことと、背面ベアリングがなめらかに回転することとを確認してスイッチを入れて下さい。

■挽曲りの種類、原因、処理

- ガイド調節が正しくても鋸身による場合、
帯鋸刃による場合、または挽材操作による
場合、挽材の性質等による場合が考え

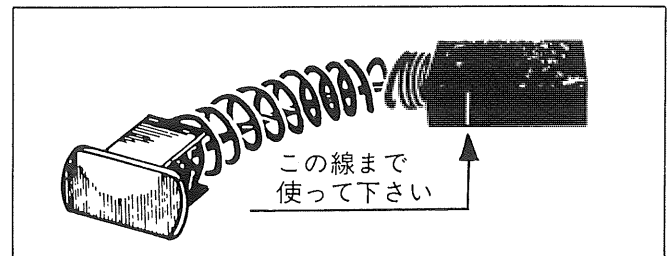
られます。能率的に作業をするにはその
原因を確め適切な処置をすることが肝要
です。

状 態	原 因	処 置
鼻 曲 り	アサリが片よっている場合、ホイールの ゴム面に凹凸にオガ屑の附着が過大。 鋸刃の出が過大、切込み操作不良。	砥石にてアサリの出ている方を落す。 オガ屑をとり払う。ホイール調節ノブ により直す。切り初めはゆっくり。
元 曲 り	腰入れ、背盛量の不足。 鋸厚に対してアサリが小さい場合。	帯鋸の仕上げ。 目立て直しをする。
小 曲 り 大 曲 り	帯鋸の切れ味低下、オガ屑のはけ悪い 送材速度が早い場合。 セリを下げずに挽いた場合。	目立て直しをする。 挽材に合った速度(堅い物はゆっくり) セリガイド部分を下げる。
弧状曲り	曲り材及びアテ材を挽いた場合。 アサリが片よっている場合。	帯鋸と定規を平行にする。 砥石にて直す。
歩 む ら	挽材速度が一定でない 挽材の保持がしっかりしていない挽曲 りをおこした時。	挽材速度は出来るだけ一定にする。 補助ローラー等を定盤の高さに設けて 作業を楽にする。

■ご注意

- 作業が終了しましたら帯鋸をはずして必ず
軽油か灯油を塗ってサビないように注意
して下さい。
- 切断加工材を急激に帯鋸に当てないよう。
また切り初めましたら前方へ静かに押し
て作業をして下さい。
- 長尺物の切断、重い木材のホゾ取りには
補助ローラーをご使用下さい。
- 小割作業等の美しい仕上りには案内定規
をご利用下さい。
- カーボンブラシは全長の $\frac{3}{4}$ 即ち横に印し

た線までになりましたら新しいカーボンと
交換して下さい。短いカーボンを用いてい
ますとモーター焼損の原因となることがあ
りますので時々点検して下さい。



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い
上ご不明の点があった場合にはご遠慮な
く全国各地のリョービ東和電動工具販売
店、リョービ東和各営業所にお問い合わせ
下さい。

※改良のため製品仕様が変わる事があります。

発 売 元



リョービ東和株式会社
リョービグループ

〒464 名古屋市千種区春岡通り7の49
電話(052)761-5111

製 造 元



リョービ 株式
会社

〒726 広島県府中市目崎町762
電話(0847)41-4111